



コロナ禍で対面での活動や職場体験等が困難な状況においても、キャリア教育の充実を図ることができるよう、動画コンテンツの授業展開例を作成しました！

動画コンテンツ、授業展開例ともに、宮崎県キャリア教育支援センターのホームページからご覧になれます。学校の実態に応じて、積極的にご活用ください！

「おしえてよのなか先生（水永さん）」の 動画コンテンツを用いた授業展開例



小学校 第6学年 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習で、最上級生として希望と目標をもって過ごしてきた児童が、これからの自分や将来について考え、もう一つステップアップするための学習として活用することができます。

動画コンテンツの視聴を通して、「自分の幸せ」や「一番大切なこと」という視点から、「なりたい自分」について深く考えさせることができ、これからの自分や将来について見つめ直す機会をつくることができます。

小学校 第6学年 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」で実施すると効果的です

【動画コンテンツ「おしえてよのなか先生（水永さん）」を用いた授業展開例】

動画コンテンツの使用に関して

動画コンテンツについて
使用する動画コンテンツは、「幸せとは何か」を宮崎県キャリア教育支援センターの水永さんにインタビューをしたものです。動画コンテンツの構成は、①「自分にとって幸せとは」（最初～2分55秒）、②「可能性に満ちた社会」（2分55秒～4分40秒）、③「多様な仕事・働き方」（4分40秒～7分00秒）、④「中学生へのメッセージ」（7分00秒～9分22秒）」の流れとなっており、③の部分を視聴いただくと、小学校6年生の資料として活用することができます。

授業展開におけるキャリア教育の視点
小学校6年生は、将来の夢や目標を考えたこと、自分の将来について考えたこと、自分の将来の夢や目標の資料の1つとして活用することができます。

1 題材名 「おしえてよのなか先生（水永さん）」

2 題材の目標
○ 将来のために、自分ができる。

3 使用する教材
(1) 動画コンテンツ
(2) ワークシート

4 キャリア教育の視点

時	内容
事前	・より高い目標設定が困難な児童を支援するために、ワークシート「自分について考える」を用いて、児童の自己認識を深め、目標設定を促す。
本時	・よのなか先生のお話を聞き、自分の将来について考える。また、先生の話から、自分にとって大切なこと、自分にとっての幸せについて考える。
事後	・「キャリア・パスポート」を作成し、2学期の学びや成長を振り返る。また、先生の話から、自分にとって大切なこと、自分にとっての幸せについて考える。

○ 動画の使用に関して

- 1 題材名
- 2 題材の目標
- 3 使用する教材
- 4 キャリア教育の視点

で見た前後のつながり

- 5 本時のねらい
- 6 学習指導過程

○ 他の活用例

飯野高等学校で「ゆたかさ指標」を活用した公開授業を実施！

9月16日（水）、県立飯野高等学校における地域探究活動（総合的な探究の時間）にて、普通科探究コース3年生（31名）を対象に梅北瑞輝指導教諭による公開授業が行われました。

同校は文科省事業「地域協働事業・地域魅力化型」に指定されており、地域探究活動を通して、本県及びえびの市の客観的な良さや改善点を学んでいます。当日は県担当者による宮崎県の現状、宮崎県総合計画及び「ゆたかさ指標」の説明を聞いた後、生徒たちはこれまでの取組を踏まえ、ゆたかさについてワールドカフェ方式で対話しました。



生徒から、「自分たちの気づかない地元のよさに気づいた」や「宮崎県の魅力をアピールするためには、まず自分たちが地域の良いところを知っていくことが大事だと思った」などの感想が聞こえ、地域への愛着や誇りを育む充実した時間となりました。

三財中学校でオンラインによる「よのなか教室」を実施！

コロナ禍で社会全体がオンラインを活用しはじめる中、オンライン職業人インタビューを行った、西都市立三財中学校3年生の取組について、担当の小川雄也教諭にお伺いしました。

どういった経緯でオンライン職業人インタビューをすることにしたのですか？

元々は、職場体験学習や地域のお祭り（へそ祭り）にボランティアで企画運営側として参加することを予定していました。多様な大人との交流を通じて、子供たちのキャリア形成をサポートできればと考えていたんです。しかし、コロナ禍でどちらも実施できなくなり、今後の見直しをしていたタイミングで、オンライン職業人インタビューのことを知ったのがきっかけです。



職場体験や地域のお祭り（へそ祭り）を通じて期待していた経験を、今回の職業人インタビューのどのような点で代替できたと思いますか？

オンライン職業人インタビューの計画を生徒たち自身が考え、時間制限のある中でどのように進行し、どのような質問をするかを検討するというプロセスで同じような経験ができたと思います。また、職業人とのつながりをもつ、よい機会となりました。

当日の主な流れについて教えてください？

当日は、落ち着いてオンライン職業人インタビューに臨むため、最初に宮崎県キャリア教育支援センターコーディネーターの福島さんが教室で生徒19名とアイスブレイクを実施しました。その間に職業人11名の方にオンライン接続をしていただき、アイスブレイク後、生徒たちもオンラインに接続しました。全員がオンライン上のメインルームに集まってからは、全体で職業人インタビューの流れを確認した後、オンラインの機能を使って3つのグループに分かれ、グループ毎にインタビューを進めました。



生徒が設定した「質問」については、どのようなものがありましたか？

「学生の頃、やっていた役に立ったことはありますか？」や「大人になった今、オススメしたい経験はありますか？」等についての質問がありました。また、「今就いている仕事を、やめたいと思ったことはありますか？」という質問もありました。

職業人からはどのような回答がありましたか？

想像していたより明確に、「勉強はやっておくといい」という回答がありました。また、ANAホールディングスで高校生向けの教育事業（イノ旅）を担当されている方からは、より広い世界を見ることで多様な視点を養うことができるし、海外留学等も早めに経験できるとよいというお話がありました。その他、フリーランスの職業人の方からは、「運動の習慣をつけること」というものもありました。企業に就職するケースと比較すると、簡単に病気で倒れることができないので、身体が資本だということを熱量高めに伝えられていました。



インタビューの全文は、本通信前面右上のQRコードから、[活動日誌]-[日誌]-[西都市立三財中学校にてセンター通信の取材をしました]でご覧になれます。

また、授業の詳しい内容や、使用したワークシート等に係る、質問・相談等がございましたら、宮崎県キャリア教育支援センターコーディネーターか、下記の連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】 TEL(0985)24-3156 FAX(0985)24-3578